

令和6年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	12-	15
会計	款	項
一般	8	5 1

政 策 9 持続可能な町の形をつくるために

課名 建設課

施 策 9-1 良好的な居住環境の形成

係名

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町営住宅入居者及び入居希望者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	町営住宅が適正に管理し、入居者及び住民に良好な住宅が供給が出来ている。
事業内容	良質な町営住宅の管理を行い、入居手続き等の事務が速やかに行えるようにする。使用料の完全徴収に努め、公平性を担保する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1						
	2						
	3						
	4						
	5						

		令和5年度 (決算)	令和6年度 (決算)	令和7年度 (予算)
全体事業費 (千円)		3,176	3,099	2,970
財源 内訳	うち一般財源	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町閥与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
総合評価	II 継 続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	町営住宅は住宅困窮者にとって必要な施設であることから、継続して維持管理していく。	③取組の課題	大木団地は建築から30年以上経過しており老朽化が進んでいる。
②R6年度に実施した取り組み	予算の範囲内で修繕工事に努め、良質な町営住宅の供給を行った。入居手続き等事務を速やかに行い、入居者及び住民の要求に対応した。使用料の完全徴収に努めた。	④今後の改善計画	今後の町営住宅のあり方を調査・研究する必要がある。